

ワイルソンの霧函装置(約1枚2枚)

C. T. R. WILSONの考案

瓦斯(空気・アルコール等)と蒸気(水蒸気・アルコール

蒸気等)の混合液を急激に膨張させることによりして

過飽和状態を得る。

Cから入れた塵埃を以て金属板Mを押上げて

おく、~~これを~~開いてMを急激に元の位置に戻すこと

により、~~霧~~新霧(新霧)を生ずる。

水蒸気とアルコールの場合には新霧比は通常1.25

水蒸気とアルコールの場合には通常1.19

湯川用箋

一、陽電子 (アニングシン)
二、陽電子 (アニングシン)
三、中間子 (ネツカマーヤー・アニングシン) (ニホム) (te)
四、中間子 (ニヤ・ヒヤ・ウ) (完) (セム) (te)
五、中間子の状態 (ラウリアス・ロムキ) (ニホム) (te)
ニホム (te) (セオボルト)

湯川用箋